

地域協議会だより

平成25年/2013 8.1 第1号

たけし

《活動日誌 No.38》

発行 上田市武石地域協議会
事務局 武石地域自治センター地域振興課
TEL0268-85-2824 FAX0268-85-2313
長野県上田市上武石 77 〒386-0592
印刷 千曲工房

「地域協議会」って、な～に?

「地域の皆さんの声を市政に反映させること」が、地域協議会の大きな役割です。協議会は、さまざまな団体の代表者や公募により選ばれた20人の委員で構成されています。

市長からの諮問に対する答申や行政からの求めに応じて、武石地域の重要事項について審議して意見を述べるなど施策に反映していきます。また、住民自治の推進や住民と行政との協働によるまちづくりの調査研究をしています。



健康で元気な地域づくりを進める上で、未来を担う子どもたちの育成は大きな役割を担う
(平成 25 年 6 月 28 日 武石小 2 年生初プール)

現在、協議会では、3専門部会で活発な意見交換をしています。

- 雲溪荘について
- 武石地域全域公園化構想の今後の取組について
- 活発な地域づくりについて ～おらほの武石づくり～

今回は中間報告として、各部会から主な事項について、地域の皆さんにお知らせします。



武石地域協議会では、平成22年度から雲溪荘の現状と課題について検討してきました。昨年9月、雲溪荘を存続するよう要望していくと決め、12月上旬、市長に要望書を提出しました。その後も存続を求めて専門部会で検討

雲溪荘の在り方について

部会長 北 沢 賢 二

石地域のアンケートでは、約80%の方が「雲溪荘存続」を望んでいる結果が出ています。

「一人一泊運動」という気持ちでやらない限り、利用客は減少の一途をたどるばかりと考えます。しかし、現状のままでは、利用者のニーズの変化もあり「使って残そう」の合言葉では存続は難しいと思われ

ます。そんな訳で雲溪荘を復活するべく、より具体的に考える新チームを立ち上げるべきだと思っております。

行政から民間へ

部員 柳沢 裕子
(地域協議会 副会長)

協議会から飛び出し現場を知るため雲溪荘内に出店、運営に手を挙げてくれる人の発掘など気付いたら雲溪荘問題に夢中になっていました。行政、事業団、住民の想いが絡み合い、

実に難しい問題です。協議会でも長期に渡り混沌とした議論が続きました。行政が宿泊施設を行うことの是非も課題となっています。だからといって歴史ある武石の宝を簡単にあきらめることはできません。お湯を活かしつつ、行政から民間に運営をバトンタッチするには、どうしたらいいのかを具体的に考えていくことが必要です。たとえば、老朽化した部分を解体し新たに武石地域の人材や地域性を盛り込んだ施設のプランを立てる。それには協議会とは別に「雲溪荘復活プロジェクト」なるものを設置すべきと考えます。これからは中途半端にお金を投入していくことは止めなくてはなりません。建設的な投資を行い、雲溪荘が住民の憩いの場として生まれ変われるよう進めていくことがこれからの協議会の大きな役目と信じています。

◆施設の老朽化
協議会では施設を視察し、源泉ポンプ、ボイラー等の部品交換の必要性を確認しました。

◆宿泊利用者の減少
昭和52年開業から平成10年頃までは、年間1万人程の宿泊の利用がありました。平成24年度には、4千人程の利用と減少しており、厳しい経営が続いています。

◆長大アンケートから
昨年度、長野大学が行った武

一層の研究検討を ＝雲溪荘の在り方＝

雲溪荘の在り方等について、部員二人からそれぞれの想いを語ってもらいました。それを基に部会としての方性を決めるべきということになりました。この課題は、協議会から抜け出し専門機関を作るべきだと考えます。その中でより一層の研究検討をし、具体的に前進していく時期だと考えます。

(雲溪荘部会委員一同)

心和む景観づくりを

副部長 竹内 利通

武石地域にどんな良いところがあるだろう。どんなふうになったら良いだろうと考え、地域の特性にあった心の和む事業を進めて行きたいと思ひます。そのためには、公園化構想の定義づけをしっかりとし、自治会、地域住民に周知していきたくと思ひます。

現在部会では、次のことについて検討を進めています。

- 武石公園周辺の整備
- 武石観光センター周辺の再構築
- 番所ヶ原スキー場の通年活用の検討
- 里山を中心とした植栽と間伐
- わがまち魅力アップ応援事業の活用
- 調和のとれた、ゆかし（行ってみたいくなるような）のふるさとづくり



美ヶ原高原の景観を保全するため、春秋2回のササ刈りで除去が進み、以前のように咲き誇るようになったレンゲツツジ群生地
(平成25年6月27日 物見石山)

【武石全域公園化構想の理念】
武石の雄大な自然や美しい風景は、安心と癒しの空間である。豊かな自然を次世代に伝えていくため、市民協働による地域づくりを進める必要がある。この理念をもって、住んでよかった、訪れてよかったと実感できる地域づくりを進める。

【具体的な取組み】
・自治会と協働した事業・花木の植栽の推進・自然、歴史ある箇所の整備、保全の検討・地域の清掃、不法投棄の防止等

武石全域公園化の取組み(抜粋)

活発な

武石が一番…

部員 中嶋 三津子

純田舎に住んでいるのに、生活は都会の人と変わらない毎日。近所の人とコミュニケーションすらとれない。これではないの？
そんな疑問から、おらほの武石づくりがスタートしました。



「祖母参観日」大好きなおじいちゃん、おばあちゃん和気あいあいとカルタ取り
(平成25年6月19日 武石小)

現在、部会の中では二つの大きな課題について考えています。

◆若い人たちにたくさん住んでもらえるには

- ①空き家の有効活用
- ②デマンド交通の高校生の通学時利用
- ③奨学金制度など子育て支援に関すること(上田市統一の奨学金制度を作って欲しい)
- ④市営住宅等は空きしだい募集するよう改善

◆地域の人口減少を歯止めするには

- ①平成24年度は15人しか生まれない現状(平成23年度は20人)
- ②武石にお嫁さんに来てもらえるような地域づくり
- ③赤ちゃんから高齢者まで、元気で暮らせる地域づくり



それぞれの思いが意見としてたくさん出されました。これらをこれから議論し検討してまいります。

皆さんは現状に満足していますか？！

地域の皆さんのご意見もお寄せいただけたらありがたいと思ひます。

「武石が一番いいわい」と思える地域になるように皆さんで知恵を出し合ひましょう。

◆◆あとかき◆◆

武石地域協議会での協議の内容を皆さんに知っていただきたく、中間報告として、ここに配布しました。

協議会では引き続き、地域の課題、問題に取り組んでまいります。「よりよい地域づくり」「地域の活性化」等、地域の将来のために皆さんのお考え、御意見など、皆さんの声をお聞かせいただければと思ひます。

武石地域協議会 会長 上野 正司

武石地域協議会委員<専門部会>名簿 (順不同 敬称略)

■雲溪荘について

- ◎北沢 賢二 (余 里)
- 清住 洋子 (七 ヶ)
- 飯田 秀範 (七 ヶ)
- 金子内 隆博 (下 本)
- 竹内 明裕 (西 武)
- 柳沢 美子 (七 ヶ)

■公園化の取組みについて

- ◎大沢 春樹 (堀 之 内)
- 竹内 利通 (上 小 寺 尾)
- 柿蔭 勲 (市 之 瀬)

◎=部会長 ○=副部会長

- 児玉 卓文 (下 本 入)
- 成田 英雄 (権 現)

■活発な地域づくり

- ◎樋沢 一幸 (藪 合)
- 森 美由樹 (下 本 入)
- 新井 敦敏 (七 ヶ 合)
- 国原 八重子 (藪 堀 之 内)
- 滝澤 由美子 (藪 合)
- 中嶋 三津子 (沖 島)
- 樋澤 みどり (中 島)

太字は協議会だより編集委員 ()内は自治会名